

南会津4町村が協定を結ぶ！

南会津地方における教育旅行の誘致促進と受入体制の充実を図るために、只見、南会津、下郷、檜枝岐の4町村は2月6日、「南会津地方の教育旅行に関する協定」を南会津町の南会津地方広域行政センターで締結しました。



▲協定書に署名した(右から)星下郷町長、大宅南会津町長、菅家町長、星檜枝岐村長と立ち会った金子南会津地方振興局長

この協定は、南会津地方4町村が

県の支援を受け、修学旅行や林間学校などの教育旅行を推進することを目的としているもので、教育旅行の誘致強化、農家民泊など宿泊施設の広域連携による受入人数の拡大、相談窓口の運営体制の強化、財政負担などで連携・協力するものです。更に、檜枝岐村の尾瀬や只見町のユネスコエコパークのブナ林、下郷町の大内宿といった郡内各所にある自然、歴史、文化の体験なども幅広くコースに組み込むことで、より学校のニーズにあった提案が可能となります。2025年度には入込数を東日本大震災発生前の1.5倍にあたる12万3千人とすることを目指します。

協定締結式では、菅家町長をはじめ郡内の4町村長が出席し、金子隆司県南会津地方振興局長が同席。代表の大宅宗吉南会津町長が「この地方が有する豊かな自然、歴史、文化を活かし、交通費や宿泊費などを軽減し、多くの学校から選ばれるよう強固な連携体制をつくる」と述べ、4町村長それぞれ協定書に署名しました。

町内3小学校の児童がESD海洋教育の成果を報告

1月28日、「海洋教育」に取り組み町内3小学校のESD海洋教育成果報告会が季の郷湯ら里で開催されました。これは、町内3小学校が海洋教育のパイオニアスクールとして1年間実践してきた学習成果を町民の方々に報告するもので、各校を代表し6年生が発表しました。町内の小中学校では、3地区の地域性を活かしたESD(持続可能な開発のための教育)を実践しており、平成29年1月には東京大学海洋ア



▲町づくりへの提言や学習の成果を発表する児童の皆さん

ライアンスと只見町が協定を結び、只見と海の結びつきというグローバルな視点で学習しています。また、只見町では町内全ての小中学校がユネスコスクールに認定されています。

開会式では、渡部教育長が「発表を聞き各校の海洋教育に理解を深めていただきたい」とあいさつし、主催者を代表し吉野徹只見小学校長が「報告会を通し、町づくりを担う人材育成に寄与するESDをさらに深めたい」と述べました。報告会では、各校3つの班に分かれ、雪や自然環境の活用、海と山の幸を素材とした郷土料理、八十里越などに関する9つのテーマで発表しました。児童から町づくりに関する提案もあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。報告会後は、同大学の及川幸彦主幹研究員が、只見など山間地の海洋教育の可能性について講演しました。

また、児童たちは2月9日に東京大学で行われた「第6回全国海洋サミット」にも参加し、全国の参加者の前で堂々と発表することができました。

河井継之助を想い制作

只見町に河井継之助のCDを寄贈

2月1日、只見字原在住の吉田六郎さん、会津美里町在住の馬場啓介さん、会津若松市在住の内城直さんが役場を訪れ、3名が作られた楽曲「河井継之助（もうひとりの龍馬）」のCDを只見町に寄贈されました。

この楽曲は、吉田さんが子どもの頃、祖父から聞いた継之助のことを想いながら作詞したもので、馬場さんが作曲し、日本歌手協会会員の内城さんが唄っています。

寄贈では、1月29日に完成したばかりのCDを菅家町長に手渡され、菅家町長は「河井継之助記念館で曲を披露させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



▲菅家町長にCDを手渡す吉田さん(左から2人目)、馬場さん(左)、内城さん(右)

地域に即した輸送サービスを考える

只見町地域公共交通会議を実施

2月5日、地域の移動手段を考える「地域公共交通会議」が只見振興センターで開かれ、国・県・町の関係者や運行事業者、地域住民など官民あわせて約20名が出席しました。この会議は、地域の実情に即した輸送サービスの実現を目的としており、新たな定期路線バスの運行形態や現在運行している雪んこタクシー、福祉乗合いききバスの運賃などについて協議しました。

協議の結果、4月から観光ツアーバスを廃止し、新たにJR只見駅から会津田島駅間の定期路線バスの運行と雪んこタクシー、福祉乗合いききバスの料金の改定などについて合意がなされました。



▲様々な立場の方々が出席し、町の公共交通について議論した地域公共交通会議

只見町が交通事故死者ゼロ日達成

町交通安全対策協議会に表彰伝達

2月16日、只見町が交通事故死者ゼロ千日を達成し、その表彰伝達式が役場で行われました。

只見町では、平成28年5月21日のオートバイ転倒事故を最後に交通死亡事故は発生しておらず、16日午前0時に達成しました。

伝達式では、交通安全運動を推進する町内外の団体の方々と同席する中、南会津地方交通安全協議会会長の金子隆司、南会津地方振興局長が町交通安全対策協議会会長の菅家町長に表彰状を手渡しました。表彰を受けた菅家町長は「交通事故死者ゼロが1日でも長く続くよう、今後も事故防止活動に取り組みたい」と謝辞を述べました。



▲金子局長(左から4人目)から表彰状を受けた菅家町長(同5人目)と同席した皆さん

柏市民の方々に只見町をPR

「只見ユネスコエコパーク展」開催

2月24日から3月2日までの期間、ふるさと交流都市・千葉県柏市にあるパレット柏において「只見ユネスコエコパーク展」が行われました。これは、柏市民の方々に只見ユネスコエコパークを広く認知してもらうことを目的としており、只見ファンの増加を目指すものです。企画展では「豪雪に育まれた自然と生活・文化を守り、活かす」をテーマに、只見町を紹介した解説パネル20枚と町の認定ブランド商品「自然首都・只見 伝承産品」約30品などが設置されました。来場者の方々は、只見ユネスコエコパークへの理解を深めていました。



▲解説パネルや伝承産品を観覧する来場者の皆さん